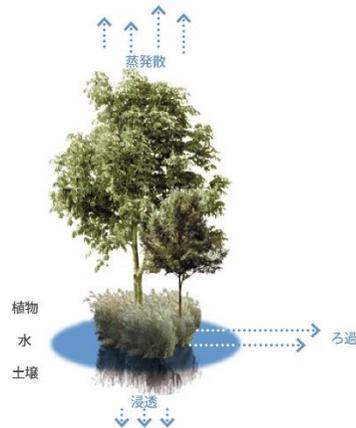


第3回：JXDA 特別講座

認定 LID 技術講座：名古屋

LIDとはなにか？

低影響開発（LID）は、生態学に基づいた雨水管理のアプローチである。それは、植栽による処理ネットワークを通じて現場で雨水を管理するソフトエンジニアリングな手法である。LIDが目指すのは硬質な表面から流出する雨水を発生源の近くで、浸透・ろ過・貯留・蒸発させることによって、その敷地が開発される前に持っていた水文機能を維持することである。従来の“配管と池”でできた運搬目的のインフラストラクチャーが植や縁石、排水マス、配管などを経て表面から流出した雨水をどこかほかの場所へと運び出すのに対し、LIDは、分散して配置された雨水処理機能のあるランドスケープ施設のネットワークへと導き、その汚染された可能性のある雨水を浄化する。



雨水インフラストラクチャーは、街の植物を研究するという貴重な生態利益を提供するように計画されることができる

講座: 認定 LID 技術講座・名古屋

●日時 10月16日（日曜日）午前9時30分～午後4時

9時30分～10時30分（各自受付および事前質疑）

10時30分～12時00分（LID+雨の庭™の基礎※1）

12時00分～12時45分（各自昼食）

12時45分～4時00分（LID技術講座+設計における Planting ideas の重要性※2）

※1：第2回講座のテキストを使用

※2：第3回講座（今回）の植物篇テキストを使用

◎JXDA 認定 LID 技術講座親睦会あり（参加自由）10月15日（土）午後6時～9時

参加対象：講座参加者（事務局および前泊者、一般参加者、会員）※費用・場所後日連絡

参加費

会員：受講料 5000 円+3000 円（テキスト：LID Planting ideas 込）

一般：受講料 7000 円+3000 円（テキスト：LID Planting ideas 込）

対象：ランドスケープや造園、緑化、建築などに携わる専門家。

※本講座は、ランドスケープアーキテクチャーや生態学、緑化に関する初歩的な知識を備えた方を前提にしたものです。今回、午前中は第2回認定 LID 基礎講座（今年3月の講座）の概略 + α の内容になります。受講希望者は、今回からの参加も可能ですが、その場合は、今回の受講料とは別途、前回第2回講座のテキスト購入が必須となります。予めご了承ください。

●第2回講座のテキスト 都市部のための低影響開発デザインマニュアル



版型：A5 40 p（A5 上質紙両面 20 枚）A5 特製ファイル入り + CD-ROM データ（紙媒体と同じ内容を電子データにしたもの）

頒布価格 5000 円

会員価格 4000 円

※当日受付にてお求めください。

場所：愛知県女性総合センターウィルあいち

〒461-0016 愛知県名古屋市東区上笠杉町1 [052-962-2511](tel:052-962-2511)

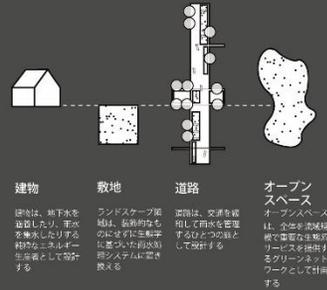
※前日の親睦会から参加される方で名古屋周辺に宿泊される方は、ご自身で宿泊手配をお願いいたします。

お申し込み方法

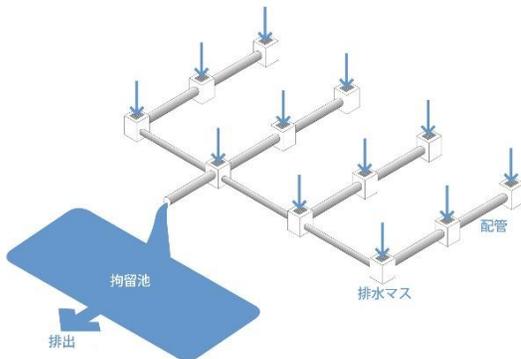
講座への参加を希望される方はメールまたは FAX にてお申込ください(最後の頁に申込書あり)。メールの場合は最後の頁を参考に必要事項を記入の上、h2o.team@xeriscape-jp.org 宛てに送信ください。メールまたは FAX のいずれも到着後 2 営業日以内に返信いたします。

LIDはどのようにして 実践することができるのか？

LIDという概念は、様々なサイズのプロジェクトや様々な種別の土地利用に対して拡張可能なものである。都市開発をその構成要素である一建物、敷地、道路、オープンスペースに分割することによって、それぞれの要素の利害関係者に行動の機会を示す。LIDが目標とするのは単に影響を最小化することではなく、継続的に生態系の機能を更新し続ける再生的で生産的な都市の景観を開発することである。

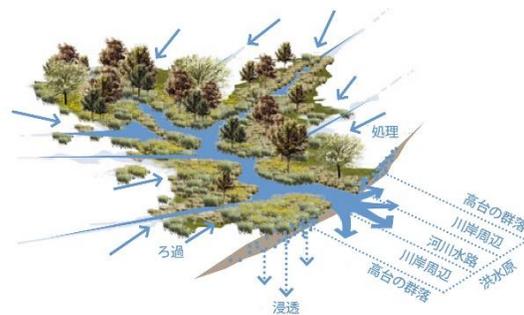


ハードエンジニアリングは
……ただ汚染を別の場所へ
移動させるだけである



従来の管理：“配管と池”というインフラストラクチャー
排水・直接・急送

ソフトエンジニアリングは
現場で汚染を代謝する
……配管ではなく公園で行う



低影響開発：流域のアプローチ
スロー・分散・浸出

講座テキストより一部抜粋

グリーンインフラストラクチャーとはなにか



グリーンインフラストラクチャーとは、雨水を管理し、浸水危険を減らし、水質を改善する遊歩道、湿地、公園、保安林などの形で在来植物を利用した土地と自然地域とを相互に連結したネットワークである。これは、経済的かつ社会的に提供されるある種の雨水管理装置で、都市景観のいたる所で戦略的に雨水管理を統合し、管の末端で行う単独構造システム（箱物）である。グリーンインフラストラクチャーは、雨水を

遠くへ運んで処理場にて集中処理する従来の雨水処理手法には依存しない、都市型雨水管理の革新的な方法である。それは、地域の開発前の水文機能を模倣し、雨水が地面へ浸透できるように計画される生態系に基づいた方法なのだ。

言い換えるならば、グリーンインフラストラクチャーとは、所望の結果を達成するために、自然のシステムを使用または複製する任意の実践である。それは低影響開発の一種であり、グリーンルーフ、バイオスウェイル(生物湿地)、雨の庭™などの実践が含まれる。例えばグリーンルーフは水を保持し、建物の屋根に生物生息地を復元しようとして草原を複製するが、ここで注意すべきは、グリーンインフラストラクチャーとはもっぱら植栽を意味するものではなく、透水性の地表面と植栽を併せた構造体（施設・設備）であるという点である。透水性の表面は、自然景観が行うのと同じ方法で降雨を処理する。そのため、グリーンインフラストラクチャーとは、人間の利益を生み出してくれる生態系を復元して複製するためのアドバイスを自然から与えられているようにも思える。



メールによるお申込(必須記入事項のサンプル)

| |
|--|
| <p>【件名】 10/16 JXDA 特別講座：名古屋</p> <p>【本文】 お名前</p> <p>・連絡先（メールアドレス）：</p> <p>・連絡先（電話番号）：</p> <p>・会員または一般 ・領収証：要・不要（お宛名： ）</p> <p>・ご職業：</p> <p>・10月15日の親睦会への参加を希望する/しない</p> |
|--|

申込書

Fax:0261-22-2647

e-mail:h2o.team@xeriscape-jp.org

| | | | |
|---|-------------------------------------|------------|-----------------------------|
| 申込日 | 月 日 | JXDA 会員 | <input type="checkbox"/> 会員 |
| <p>JXDA 特別講座に参加を申し込みます。(当てはまる項目を☑してください)</p> <p><input type="checkbox"/>10月16日(日) 10,000円(一般) <input type="checkbox"/>10月16日(日) 8,000円(会員)</p> <p><input type="checkbox"/>10月15日(土)の親睦会への参加を希望します(詳細は後日連絡)</p> | | | |
| フリガナ | | 連絡先 | |
| お名前 | | Fax | |
| | | メール | |
| 領収書の 有無 | <input type="checkbox"/> 必要 お宛名： | | |
| ご職業 | | | |